

主催 全国商業高等学校長協会・公益財団法人全国商業高等学校協会
後援 文部科学省・日本公認会計士協会・日本税理士会連合会・日本商工会議所

第42回 (令和8年度) 全国高等学校簿記競技大会問題 (第1部)

注 意 事 項

- (1) 解答は、すべて解答用紙に記入すること。なお、教科書に基づき日頃学校で指導を受けている記帳の方法によって、正確・迅速・整然と記帳すること。
- (2) 鉛筆および消しゴムで消せるボールペンの使用は認めない。
- (3) 机上には、競技番号札・ボールペン（黒・赤）・電卓・そろばん・定規・タイマー以外おかないこと。
なお、物品の貸借はしないこと。
- (4) 赤記すべきところは、赤のボールペンを使用すること。
- (5) 記帳したものを訂正する場合は、教科書に基づき日頃学校で指導を受けている方法によって訂正すること。
なお、訂正印は省略する。

1 (30点)

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現金	普通預金	当座預金	売掛金	繰越商品
仕掛品	仮払消費税	従業員立替金	構築物	機械装置
土地	建設仮勘定	売買目的有価証券	満期保有目的債券	その他有価証券
子会社株式	未払金	仮受消費税	未払消費税	契約負債
未払配当金	備品減価償却累計額	機械装置減価償却累計額	資本金	資本準備金
その他資本剰余金	利益準備金	繰越利益剰余金	自己株式	新株予約権
売上	工事収益	役務収益	雑益	仕入
役務原価	減価償却費	消耗品費	雑費	雑損
神戸支店	姫路支店	本店	現金過不足	

- (1) 愛知物産株式会社（発行済株式総数 5,000 株）は、定時株主総会において、その他資本剰余金 ¥2,250,000 と繰越利益剰余金（各自推算）を配当することを決議した。

株主への配当金：1 株につき ¥1,500

資本準備金：会社法によること 利益準備金：会社法によること

ただし、承認直前の残高は次のとおりである。

資本金 ¥72,000,000 資本準備金 ¥15,000,000

その他資本剰余金 ¥3,000,000 利益準備金 ¥2,550,000

繰越利益剰余金 ¥7,000,000

- (2) 奈良リサーチ株式会社は、かねて、依頼のあった市場調査が完了し、代金として ¥1,400,000 を受け取り、ただちに普通預金に預け入れた。なお、市場調査にかかる費用として、従業員の給料 ¥670,000 出張に要した旅費 ¥190,000 および消耗品費 ¥32,000 を仕掛品勘定に振り替えていた。

- (3) 八戸株式会社は、青森建設株式会社に土地のアスファルト舗装を依頼し、手付金として舗装工事の費用の 30%にあたる ¥342,300 を普通預金から支払った。なお、この土地は駐車場（自社利用）として使用する目的で先月購入したものである。

- (4) かねて現金の不足が判明したさいに計上していた現金過不足勘定の残高 ¥2,030 について、原因を調査していたが、決算日に、待合室に置くための書籍の購入代金 ¥3,000 と古くなった雑誌の売却額 ¥870 の記入漏れが判明した。なお、残額は不明であった。

- (5) 愛媛商事株式会社は、公募による新株式の発行を計画し、次の条件で新株取得の権利を発行していたが、本日 488 個の権利行使があり、普通預金への入金が確認された。よって、新株式の発行による増資をおこなった。なお、株主資本の計上にあたり、3 分の 1 は株主資本における資本剰余金の項目として計上することにした。

条 件

発行総数 500 個（1 個につき 100 株を付与）

払込金額 1 個につき ¥1,000,000

権利行使価額 1 株につき ¥83,900

- (6) かねて、業務提携の目的で所有していた滋賀商事株式会社の株式について、取締役会において同社の発行済株式総数の 50% を追加取得する決議がなされた。よって、本日、追加取得分の対価として ¥26,300,000 を当座預金口座から支払った。なお、これまで保有していた滋賀商事株式会社の帳簿価額は ¥4,500,000 であり、発行済株式総数の 10% である。

- (7) 栃木流通株式会社は、第9期の決算にあたり、次の条件により、機械装置について減価償却費を計上した。
なお、減価償却費は、対象資産ごとに最低限度額（償却保証額）を設定し、同額を下回る会計年度から、改訂償却率を用いた定額計算に移行している。

条 件

取得原価 ￥6,500,000 使用開始日 第3期初頭 耐用年数 10年
償却方法 200%定率法（改訂償却率 0.250）
償却保証額 取得原価に 0.06552 を乗じた金額
記帳方法 間接法

- (8) 香川株式会社は、清掃用品の展示即売会に訪れた従業員に立て替えて購入させていたコードレス掃除機とその領収証を本日受け取り、代金を現金で精算した。なお、消費税は税抜き方式で処理している。

香川株式会社 様	領 収 証	No. 19
¥82,500-		
但 コードレス掃除機代として		
令和8年 7月 10日 上記正に領収いたしました		
＜金額(税抜)＞ % 10 % (各自推定)		
＜消費税額等＞ % 10 % (各自推定)		
東京都 新宿区 大京町 ○○ 全商 WORK'S 登録番号 T0123456789123		収 入 印 紙 200円

- (9) 本店集中計算制度を採用している兵庫商店の神戸支店は、商品Aを下記の計画書により姫路支店から仕入れている。本日5月12日、商品Aを仕入れ、本店に通知した。なお、神戸支店は、払出単価（先入先出法）に35%の利益を見込んで販売単価を設定しているが、本日の仕入分から仕入単価が30円高くなったため、5月の予定売上高を¥7,711,200に修正している。（神戸支店5月12日の仕訳）

計画書（商品A 5月分）

月初在庫数量 400 個
当月仕入数量 9,500 個（内訳 5月4日 4,500個 5月12日 5,000個）
月末在庫数量 600 個（予定）

- (10) 石川観賞魚株式会社は、富山商事株式会社にインテリア水槽セット¥270,000 および1年間の水槽メンテナンスサービス¥180,000 を販売し、代金は普通預金口座に振り込まれた。当社では、それぞれ別々の履行義務として識別している。なお、水槽メンテナンスサービスは1ヵ月後から開始し、時の経過に応じて履行義務を充足する。

2 (10点)

定額資金前渡法を採用している熊本商店の令和〇年7月13日の取引について起票された次の略式の伝票によって、仕訳集計表を作成しなさい。

ただし、Ⅰ 熊本商店では仕訳伝票のみの1伝票制を採用している。

Ⅱ 仕入・売上の各取引は代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。

Ⅲ 1枚の伝票には、貸借それぞれ1科目だけ記入することになっている。

仕訳伝票(借方)		仕訳伝票(貸方)	
クレジット売掛金	131,480	売	上 131,480
支払手数料	3,287	クレジット売掛金	3,287
備品	124,060	未払金	124,060
仕入	719,820	買掛金	719,820
普通預金	261,750	クレジット売掛金	261,750
有価証券	394,810	普通預金	394,810
普通預金	584,000	電子記録債権	584,000
仕入	759,620	買掛金	759,620
通信費	21,370	租税公課	21,370
買掛金	348,100	電子記録債務	348,100
未払金	159,700	普通預金	159,700
普通預金	319,350	仮受金	319,350
ソフトウェア	987,120	普通預金	987,120
ソフトウェア	573,010	ソフトウェア仮勘定	573,010
消耗品費	98,360	普通預金	98,360

仕訳伝票(借方)		仕訳伝票(貸方)	
電子記録債務	352,000	普通預金	352,000
普通預金	290,265	電子記録債権	290,265
電子記録債権売却損	9,735	電子記録債権	9,735
クレジット売掛金	207,200	売	上 207,200
支払手数料	5,180	クレジット売掛金	5,180
普通預金	925,798	有価証券	925,798
普通預金	52,847	有価証券売却益	52,847
ソフトウェア仮勘定	267,950	普通預金	267,950
電子記録債務	419,360	普通預金	419,360
買掛金	357,412	電子記録債務	357,412
クレジット売掛金	162,280	売	上 162,280
支払手数料	4,057	クレジット売掛金	4,057
普通預金	309,807	クレジット売掛金	309,807
仕入	279,410	買掛金	279,410

3 (30点)

関東商店（個人商店）の次の取引を総勘定元帳に記入しなさい。また、補助簿である売掛金元帳、商品有高帳に記入し、1月末の残高試算表を作成しなさい。

- ただし、Ⅰ 総勘定元帳への記入は、日付と金額を示せばよい。また、前期繰越の未記入部分については各自推算し、記入すること。
- Ⅱ 関東商店は2種類の商品を扱っており、前期から繰り越されたB品は¥84,000である。
- Ⅲ 関東商店は3社の得意先と取引をおこなっており、千葉商店に対する前期から繰り越された売掛金は¥90,000である。
- Ⅳ 売掛金元帳（一部）、商品有高帳（一部）の摘要欄は繰越記入以外は不要とする。また、月末に締め切るものとする。
- Ⅴ 商品有高帳は、移動平均法により記入すること。
- Ⅵ 商品売り渡しのさいに発送費が生じる場合は、発送費相当額を含めた金額を掛売上高として処理する。

取 引

1月 6日 埼玉商店から商品を仕入れ、代金のうち¥200,000は現金で支払い、残額は掛けとした。

A品 400個 @¥480

B品 500〃 〃〃220

9日 埼玉商店に対する買掛金¥132,000について、取引銀行を通じて電子記録債務の発生記録の請求を行った。

11日 千葉商店から売掛金¥90,000を現金で受け取った。

14日 群馬商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A品 500個 @¥640

18日 福島商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。また、同時に発送業者へこの商品を引き渡し、送料¥3,850を現金で支払った。

B品 275個 @¥300（送料¥3,850除く）

20日 福島商店に売り渡した上記商品の一部について、次のとおり返品された。なお、この代金は売掛金から差し引くことにした。

B品 15個 @¥300

22日 群馬商店に対する売掛金¥160,000について、取引銀行より電子記録債権の発生記録の通知を受けた。

23日 積立式定期預金の指定日のため、普通預金口座より¥50,000の引き落としが行われた。

28日 電子記録債権¥214,000が決済され、普通預金口座に振り込まれた。

〃日 電子記録債務¥112,000が決済され、普通預金口座から引き落とされた。

29日 群馬商店から売掛金の一部¥80,000を現金で受け取った。

30日 茨城商店から次の商品を仕入れ、代金はさきに支払っていた内金¥80,000を差し引き、残額は掛けとした。

A品 400個 @¥450

31日 従業員の来月の出張にともない、旅費の概算額¥60,000を現金で手渡した。

4 (30点)

鹿児島商事株式会社の第25期（令和7年4月1日から令和8年3月31日）の次の資料によって、損益計算書と貸借対照表を完成しなさい。なお、便宜上金額は小額で示している。

資 料

I 総勘定元帳勘定残高

現 金	¥ 36,785	普 通 預 金	¥ 68,586	電 子 記 録 債 権	¥ 22,000
売 掛 金	30,600	貸 倒 引 当 金	600	有 価 証 券	42,000
繰 越 商 品	23,400	仮 払 法 人 税 等	4,860	建 物	75,000
建物減価償却累計額	18,750	備 品	40,000	備品減価償却累計額	17,500
満期保有目的債券	19,760	繰 延 税 金 資 産	1,230	電 子 記 録 債 務	43,840
買 掛 金	39,302	長 期 借 入 金	8,500	退職給付引当金	19,000
資 本 金	150,000	利 益 準 備 金	9,000	別 途 積 立 金	8,640
繰越利益剰余金	7,300	売 上	490,000	有 価 証 券 利 息	600
仕 入	375,000	給 料	60,864	保 険 料	5,208
支 払 地 代	3,600	水 道 光 熱 費	2,760	雑 費	1,243
支 払 利 息	136				

II 付記事項

- 売掛金のうち¥600は、東西商店に対する前期末のものであり、同店はすでに倒産しているため、貸し倒れとして処理する。
- Z社社債について、1回分の利息を現金で受け取っていたが未処理であった。

III 決算整理事項

- 期末商品は次のとおりであった。

	帳簿棚卸数量	実地棚卸数量	原価（単価）	正味売却価額（単価）
A品	40個	30個	¥ 364	¥ 350
B品	10個	6個	¥1,250	¥1,271

ただし、棚卸減耗損と商品評価損は売上原価の内訳項目とする。

なお、B品のうち2個は品質不良を原因とする収益性の低下が発生し、その正味売却価額（単価）は¥1,000である。

- 売上債権の期末残高に対し、貸倒実績率3%として、貸し倒れの見積りをしている。

- 建物および備品について、減価償却費を計上する。

	償却方法	残存価額	耐用年数
建物	定額法	零（0）	40年
備品	定額法	零（0）	8年

d. 保有する有価証券は次のとおりである。

	分 類	取得原価	帳簿価額	時 価
X 社社債	売 買 目 的	¥10,000	¥11,600	¥11,000
Y 社社債	売 買 目 的	¥30,000	¥30,400	¥31,600
Z 社社債	満期保有目的			¥19,900

Z 社社債（額面総額 ¥20,000 利率年 2 % 期間 5 年 利払日は 3 月末と 9 月末の年 2 回）は令和 4 年 4 月 1 日に発行と同時に額面 ¥100 につき ¥97 の価額で取得したものであり、償却原価法（定額法）により評価する。

e. 令和 5 年 10 月 1 日に 2 年分の保険料を支払い、2 年毎に更新をする契約を結んでいる。なお、今回の支払いから保険料が改定され、3 割値上がりしている。

f. 支払地代は過去 1 年分として毎年同額を 12 月末に支払っている。

g. 退職給付引当金の繰入額は、¥4,750 であった。

h. 当期の税効果会計上の一時差異は、次のとおりであり、これ以外は考慮しない。ただし、法定実効税率は 30% とする。

- (1) 前期末の売上債権に対して貸倒引当金を計上していたが、そのうち ¥600 については損金として認められていなかった。当期において該当の売掛金が回収不能となったため、¥600 が損金として認められた。また、当期末に計上した貸倒引当金繰入額のうち ¥1,040 が損金として認められなかった。
- (2) 当期末に計上した減価償却費のうち、償却限度超過額 ¥1,000 が損金として認められなかった。前期末の減価償却費の償却限度超過額の累計は ¥3,500 であり、当期末の償却限度超過額の累計は ¥4,500 となった。

i. 当期の税引前当期純利益は ¥25,700 である。上記 h により求めた課税所得 ¥27,140 に対して 30% に相当する額を法人税・住民税及び事業税として計上する。

第42回（令和8年度）第1部〔解答用紙〕

番号		氏名	
----	--	----	--

1	
得点	

2	
得点	

3	
得点	

4	
得点	

1 部	
総得点	

1 審	
-----	--

2 審	
-----	--

3 審	
-----	--

	借方	貸方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		
(8)		

	借 方	貸 方
(9)		
(10)		

2

仕 訳 集 計 表
令和〇年7月13日

借 方	元 子	勘 定 科 目	元 子	貸 方
		小 口 現 金		
		普 通 預 金		
		電 子 記 録 債 権		
		クレジット売掛金		
		有 価 証 券		
		備 品		
		ソ フ ト ウ ェ ア		
		ソフトウェア仮勘定		
		電 子 記 録 債 務		
		買 掛 金		
		未 払 金		
		仮 受 金		
		売 上		
		有価証券売却益		
		仕 入		
		支 払 手 数 料		
		通 信 費		
		消 耗 品 費		
		租 税 公 課		
		電子記録債権売却損		

番号

氏名

1

得点

2

得点

3

総勘定元帳

現金		1	普通預金		2
1/1 前期繰越	437,000		1/1 前期繰越	489,000	
定期預金		3	電子記録債権		4
1/1 前期繰越	800,000		1/1 前期繰越	214,000	
売掛金		5	繰越商品		6
1/1 前期繰越 ()			1/1 前期繰越 ()		
前払金		7	仮払金		8
1/1 前期繰越	80,000				
電子記録債務		9	買掛金		10
	1/1 前期繰越 112,000			1/1 前期繰越 462,000	
資本金		11	売上		12
	1/1 前期繰越 2,100,000				
仕入		13	発送費		14

売掛金元帳(一部)

群馬商店

1

令和 8年	摘要	借方	貸方	借または貸	残高
1/1	前月繰越	170,000		借	170,000
	記入不要				
	()				

令和 8年	摘 要	借 方	貸 方	借または貸	残 高
1 1	前 月 繰 越	220,000		借	220,000
	記入不要				
	()				

商 品 有 高 帳 (一部)

(移動平均法)

品 名 A品

単位：個

令和 8年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
1 1	前 月 繰 越	200	450	90,000				200	450	90,000
	記入不要									
	()									

残 高 試 算 表

令和8年1月31日

借 方	元丁	勘定科目	貸 方
	1	現 金	
	2	普 通 預 金	
	3	定 期 預 金	
	4	電子記録債権	
	5	売 掛 金	
	6	繰 越 商 品	
	7	前 払 金	
	8	仮 払 金	
	9	電子記録債務	
	10	買 掛 金	
	11	資 本 金	
	12	売 上	
	13	仕 入	
	14	発 送 費	

3

得点

損 益 計 算 書

鹿兒島商事株式会社

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

490,000

Ⅰ 売 上 高

Ⅱ 売 上 原 価

1. 期首商品棚卸高	(	)	
2. 当期商品仕入高	(	)	
合 計	(	)	
3. 期末商品棚卸高	(	)	
	(	)	
4. 棚 卸 減 耗 損	(	)	
5. 商 品 評 価 損	(	)	(
売上総利益			(

Ⅲ 販売費及び一般管理費

1. 給 料	(	)	
2. 貸倒引当金繰入	(	)	
3. 減 価 償 却 費	(	)	
4. 退 職 給 付 費 用	(	)	
5. 保 險 料	(	)	
6. 支 払 地 代	(	)	
7. 水 道 光 熱 費	(	)	
8. 雑 費	(	)	(
営業利益			(

Ⅳ 営 業 外 収 益

1. 有価証券利息	(	)	
2. 有価証券評価益	(	)	(

Ⅴ 営 業 外 費 用

1. 支 払 利 息	(	)	(
経 常 利 益			(
税引前当期純利益			(
法人税・住民税及び事業税	(	)	
法人税等調整額	(	)	(
当 期 純 利 益			(

貸 借 対 照 表

鹿児島商事株式会社

令和8年3月31日

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流 動 資 産		I 流 動 負 債	
1. 現 金 預 金	()	1. 電子記録債務	()
2. 電子記録債権	()	2. 買 掛 金	()
貸倒引当金	() ()	3. 未 払 費 用	()
3. 売 掛 金	()	4. 未払法人税等	()
貸倒引当金	() ()	流動負債合計	()
4. 有 価 証 券	()	II 固 定 負 債	
5. 商 品	()	1. 長期借入金	()
6. 前 払 費 用	()	2. 退職給付引当金	()
流動資産合計	()	固定負債合計	()
II 固 定 資 産		負 債 合 計	()
(1) 有形固定資産		純 資 産 の 部	
1. 建 物	()	I 株 主 資 本	
減価償却累計額	() ()	(1) 資 本 金	()
2. 備 品	()	(2) 利 益 剰 余 金	
減価償却累計額	() ()	1. 利 益 準 備 金	()
有形固定資産合計	()	2. その他利益剰余金	
(2) 投資その他の資産		① 別 途 積 立 金	()
1. 長期前払費用	()	② 繰越利益剰余金	()
2. 繰延税金資産	()	利益剰余金合計	()
投資その他の資産合計	()	株主資本合計	()
固定資産合計	()	純 資 産 合 計	()
資 産 合 計	()	負債及び純資産合計	()

4

得点

第42回（令和8年度）第1部〔審査基準〕

1	3点×10=30点
---	-----------

2	2点×5=10点
---	----------

3	3点×10=30点
---	-----------

4	3点×10=30点
---	-----------

1部 合計	100点
----------	------

	借 方	貸 方
(1)	その他資本剰余金 2,385,000 繰越利益剰余金 5,565,000	未払配当金 7,500,000 資本準備金 135,000 利益準備金 315,000
(2)	普通預金 1,400,000 役務原価 892,000	役務収益 1,400,000 仕掛品 892,000
(3)	建設仮勘定 342,300	普通預金 342,300
(4)	雑費 3,000	現金過不足 2,030 雑益 970
(5)	普通預金 4,094,320,000 新株予約権 488,000,000	資本金 3,054,880,000 資本準備金 1,527,440,000
(6)	子会社株式 30,800,000	その他有価証券 4,500,000 当座預金 26,300,000
(7)	減価償却費 425,984	機械装置減価償却累計額 425,984
(8)	消耗品費 75,000 仮払消費税 7,500	現金 82,500

	借	方	貸	方
(9)	仕	入	本	店
		3,150,000		3,150,000
(10)	普	通	売	上
	預	金	契	約
		450,000	負	債
				270,000
				180,000

2

仕 訳 集 計 表
令和〇年7月13日

借	方	元	勘	定	科	目	元	貸	方
		子					子		
			小	口	現	金			
2,743,817			普	通	預	金		2,679,300	
			電	子	記	録	債	権	884,000
500,960			ク	レ	ジ	ット	売	掛	金
394,810			有	価	証	券		925,798	
124,060			備			品			
1,560,130			ソ	フ	ト	ウ	ェ	ア	
267,950			ソ	フ	ト	ウ	ェ	ア	仮
			仮	勘	定			573,010	
771,360			電	子	記	録	債	務	705,512
705,512			買		掛	金		1,758,850	
159,700			未	払	金			124,060	
			仮	受	金			319,350	
			売			上		500,960	
			有	価	証	券	売	却	益
								52,847	
1,758,850			仕			入			
12,524			支	払	手	数	料		
21,370			通		信	費			
98,360			消	耗	品	費			
			租	税	公	課		21,370	
9,735			電	子	記	録	債	権	売
			却	損					
9,129,138								9,129,138	

1

3 点 × 10 = 30 点

2

2 点 × 5 = 10 点

総勘定元帳

現 金		1		普 通 預 金		2	
1/ 1 前期繰越	437,000	1/ 6	200,000	1/ 1 前期繰越	489,000	1/ 23	50,000
11	90,000	18	3,850	28	214,000	28	112,000
29	80,000	31	60,000				
定 期 預 金		3		電 子 記 録 債 権		4	
1/ 1 前期繰越	800,000			1/ 1 前期繰越	214,000	1/ 28	214,000
23	50,000			22	160,000		
売 掛 金		5		繰 越 商 品		6	
1/ 1 前期繰越 (	480,000)	1/ 11	90,000	1/ 1 前期繰越 (	174,000)		
14	320,000	20	4,500				
18	86,350	22	160,000				
		29	80,000				
前 払 金		7		仮 払 金		8	
1/ 1 前期繰越	80,000	1/ 30	80,000	1/ 31	60,000		
電 子 記 録 債 務		9		買 掛 金		10	
1/ 28	112,000	1/ 1 前期繰越	112,000	1/ 9	132,000	1/ 1 前期繰越	462,000
		9	132,000			6	102,000
						30	100,000
資 本 金		11		売 上		12	
		1/ 1 前期繰越	2,100,000	1/ 20	4,500	1/ 14	320,000
						18	86,350
仕 入		13		発 送 費		14	
1/ 6	302,000			1/ 18	3,850		
30	180,000						

売掛金元帳(一部)

群馬商店

1

令和 8年	摘 要	借 方	貸 方	借 また は 貸	残 高
1 1	前 月 繰 越	170,000		借	170,000
14		320,000		〃	490,000
22	記入不要		160,000	〃	330,000
29			80,000	〃	250,000
31	(次 月 繰 越)		250,000		
		490,000	490,000		

令和 8年	摘要	借方	貸方	借または貸	残高
1	1 前月繰越	220,000		借	220,000
	18	86,350		〃	306,350
	20		4,500	〃	301,850
	31 (次月繰越)		301,850		
		306,350	306,350		

商品有高帳(一部)

(移動平均法)

品名 A品

単位：個

令和 8年	摘要	受入			払出			残高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
1	1 前月繰越	200	450	90,000				200	450	90,000
	6	400	480	192,000				600	470	282,000
	14				500	470	235,000	100	470	47,000
	30	400	450	180,000				500	454	227,000
	31 (次月繰越)				500	454	227,000			
		1,000		462,000	1,000		462,000			

残高試算表

令和8年1月31日

借方	元丁	勘定科目	貸方
343,150	1	現金	
541,000	2	普通預金	
850,000	3	定期預金	
160,000	4	電子記録債権	
551,850	5	売掛金	
174,000	6	繰越商品	
	7	前払金	
60,000	8	仮払金	
	9	電子記録債務	132,000
	10	買掛金	532,000
	11	資本金	2,100,000
	12	売上	401,850
482,000	13	仕入	
3,850	14	発送費	
3,165,850			3,165,850

3

3点×10=30点

鹿兒島商事株式会社

損 益 計 算 書
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

490,000

I 売 上 高**II 売 上 原 価**

1. 期首商品棚卸高	(23,400)
2. 当期商品仕入高	(375,000)
合 計	(398,400)
3. 期末商品棚卸高	(27,060)
	(371,340)
4. 棚 卸 減 耗 損	(8,640)
5. 商 品 評 価 損	(920)

(380,900)

売上総利益

(109,100)

III 販売費及び一般管理費

1. 給 料	(60,864)
2. 貸倒引当金繰入	(1,560)
3. 減 価 償 却 費	(6,875)
4. 退 職 給 付 費 用	(4,750)
5. 保 險 料	(1,932)
6. 支 払 地 代	(4,800)
7. 水 道 光 熱 費	(2,760)
8. 雑 費	(1,243)

(84,784)

営業利益

(24,316)

IV 営 業 外 収 益

1. 有価証券利息	(920)
2. 有価証券評価益	(600)

(1,520)

V 営 業 外 費 用

1. 支 払 利 息	(136)
------------	---------

(136)

経常利益

(25,700)

税引前当期純利益

(25,700)

法人税・住民税及び事業税

(8,142)

法人税等調整額

(△ 432)

当 期 純 利 益

(7,710)

(17,990)

貸 借 対 照 表

鹿児島商事株式会社

令和8年3月31日

(単位：円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
I 流 動 資 産			I 流 動 負 債		
1. 現 金 預 金		(105,571)	1. 電子記録債務	(43,840)	
2. 電子記録債権	(22,000)		2. 買 掛 金	(39,302)	
貸倒引当金	(660)	(21,340)	3. 未 払 費 用	(1,200)	
3. 売 掛 金	(30,000)		4. 未払法人税等	(3,282)	
貸倒引当金	(900)	(29,100)	流動負債合計	(87,624)	
4. 有 価 証 券		(62,480)	II 固 定 負 債		
5. 商 品		(17,500)	1. 長期借入金	(8,500)	
6. 前 払 費 用		(2,184)	2. 退職給付引当金	(23,750)	
流動資産合計		(238,175)	固定負債合計	(32,250)	
II 固 定 資 産			負債合計	(119,874)	
(1) 有形固定資産			純 資 産 の 部		
1. 建 物	(75,000)		I 株 主 資 本		
減価償却累計額	(20,625)	(54,375)	(1) 資 本 金	(150,000)	
2. 備 品	(40,000)		(2) 利益剰余金		
減価償却累計額	(22,500)	(17,500)	1. 利益準備金	(9,000)	
有形固定資産合計		(71,875)	2. その他利益剰余金		
(2) 投資その他の資産			① 別途積立金	(8,640)	
1. 長期前払費用		(1,092)	② 繰越利益剰余金	(25,290)	
2. 繰延税金資産		(1,662)	利益剰余金合計	(42,930)	
投資その他の資産合計		(2,754)	株主資本合計	(192,930)	
固定資産合計		(74,629)	純 資 産 合 計	(192,930)	
資 産 合 計		(312,804)	負債及び純資産合計	(312,804)	

4

3点×10=30点